

2009年 大会記録

国際

◇ノードハーゲン・ジュニア・クラシック＝女子（1月31日、カナダ・カルガリー）

▼44kg 級 加賀美祐紀（埼玉・花咲徳栄高）＝3位、小柳絵里（東京・安部学院高）＝2位、鈴木美織（東京・安部学院高）＝優勝、▼48kg 級 長沼美香（岐阜・岐阜工高）＝優勝、▼51kg 級 池亀優希（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、杉本恵（山形・山形商高）＝4位、平野遥香（東京・安部学院高）＝2位、▼55kg 級 木下茜（埼玉・埼玉栄高）＝2位、嶋田実結（青森・青森商高）＝優勝、▼59kg 級 立光志織（東京・安部学院高）＝優勝、吉本清香（福岡・北九州高）＝4位、▼63kg 級 歌田圭純（東京・安部学院高）＝優勝、▼67kg 級 飯島千晶（東京・安部学院高）＝優勝

◇カルガリー・オープン＝女子（2月1日、カナダ・カルガリー）

▼48kg 級 長沼美香（岐阜・岐阜工高）＝優勝、小柳絵里（東京・安部学院高）＝2位、鈴木美織（東京・安部学院高）＝3位、加賀美祐紀（埼玉・花咲徳栄高）＝6位、▼51kg 級 平野遥香（東京・安部学院高）＝3位、池亀優希（埼玉・埼玉栄高）＝4位、杉本恵（山形・山形商高）＝6位、▼55kg 級 木下茜（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、嶋田実結（青森・青森商高）＝6位、▼59kg 級 吉本清香（福岡・北九州高）＝2位、立光志織（東京・安部学院高）＝3位、▼63kg 級 歌田圭純（東京・安部学院高）＝2位、▼67kg 級 飯島千晶（東京・安部学院高）＝3位

◇ヤシャ・ドク国際大会＝男子フリースタイル（2月7～8日、トルコ・アンカラ）

▼55kg 級 湯元進一（自衛隊）＝優勝、稲葉泰弘（警視庁）＝2位、▼60kg 級 前田翔吾（日体大）＝二失、大館信也（自衛隊）＝一失、▼66kg 級 米満達弘（拓大）＝優勝、森川一樹（山梨学院大）＝三失、▼74kg 級 長島和幸（クリナップ）＝二失、萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）＝二失

◇デーブ・シュルツ国際大会（2月6～8日、米国・コロラドスプリングズ）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 守田泰弘（日体大）＝3位、▼60kg 級 洞口幸太（日体大）＝三失、松本桂（早大）＝四失、▼66kg 級 石田智嗣（早大）＝二失、志土地翔太（日体大）＝二失、▼74kg 級 奈良部嘉明（山梨学院大）＝6位、鎌田学（中京学院大）＝三失、▼84kg 級 松本篤史（日体大）＝4位、▼96kg 級 下屋敷佳貴（日体大）＝二失、▼120kg 級 荒木田進謙（専大）＝5位

《男子グレコローマン》▼55kg級 尾形翼（日体大）＝5位、▼66kg級 谷口和己（日体大）＝1 二失、▼74kg級 中井伸一（中大）＝三失、▼84kg級 尾曲伸乃祐（青山学院大）＝二失、▼96kg級 山本雄資（山梨学院大）＝二失、▼120kg級 平川臣一（専大）＝5位、高山裕章（日本文理大）＝二失

◇ニコラ・ペトロフ国際大会＝男子グレコローマン（2月14～15日、ブルガリア・バルナ）

ナ）

▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝優勝、峯村亮（神奈川大職）＝7位、▼60kg級 佐藤亮太（日体大）＝7位、谷岡泰幸（自衛隊）＝13位、▼66kg級 藤村義（自衛隊）＝12位、清水博之（自衛隊）＝8位、▼74kg級 鶴巻幸（自衛隊）＝3位、金久保武大（日体大）＝14位、▼84kg級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）＝8位、▼96kg級 北村克哉（FEG）＝13位、▼120kg級 中村淳志（カンサイ）＝3位

◇ダン・コロフ国際大会＝男子フリースタイル（2月14～15日、ブルガリア・バルナ）

▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁）＝優勝、湯元進一（自衛隊）＝3位、▼60kg級 前田翔吾（日体大）＝3位、大館信也（自衛隊）＝一棄、▼66kg級 米満達弘（拓大）＝9位、森川一樹（山梨学院大）＝13位、▼74kg級 長島和幸（クリナップ）＝5位、萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）＝9位

◇ハンガリー・カップ＝男子グレコローマン（2月28日～3月1日、ハンガリー・ゾンバトヘイ）

バトヘイ）

▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝優勝、峯村亮（神奈川大職）＝7位、▼60kg級 谷岡泰幸（自衛隊）＝3位、佐藤亮太（日体大）＝13位、▼66kg級 藤村義（自衛隊）＝5位、清水博之（自衛隊）＝7位、▼74kg級 鶴巻幸（自衛隊）＝12位、金久保武大（日体大）＝22位、▼84kg級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）＝12位、▼96kg級 北村克哉（FEG）＝24位、▼120kg級 中村淳志（カンサイ）＝16位

◇クリッパン女子国際大会（3月6～7日、スウェーデン・クリッパン）

《カデット》▼40kg級 奥野里菜（三重・久居西中）＝3位、▼43kg級 登坂絵莉（富山・南星中）＝優勝、我満愛子（青森・青森商高）＝四失、▼46kg級 伊藤史織（茨木・助川中）＝4位、宮原優（東京・稲付中）＝優勝、▼49kg級 金子和（群馬・千代田中）＝二失、増田奈千（大阪・梶中）＝3位、阿部千波（愛知・至学館高）＝2位、▼49kg級 谷地美紀（愛知・至学館高）＝4位、▼52kg級 田中亜里沙（埼玉・埼玉栄高）＝優勝、坂野結衣（大阪・青山台中）＝2位、▼56kg級 加藤優希（東京・安部学院高）＝2位、▼60kg級 佐藤喜歌（静岡・焼津水産高）＝四失、上原榛奈（群馬・前橋西高）＝4位、菅原ひかり（三重・一志中）＝3位、鈴木紅夏（群馬・太田ク）＝五失、▼65kg級 土性

沙羅（三重・鎌田中）＝優勝、坂本希和（愛知・大府北中）＝四失、▼70kg 級 橋本千紘（東京・安部学院高）＝3位、菅原愛美（群馬・関東学園高）＝二失、新井明恵（群馬・富岡実高）＝4位、会沢ひろの（千葉・木間ヶ瀬中）＝三失

◇ワールドカップ＝女子（3月21～22日、中国・太原）

3位

予選1回戦 日本● [2-5] ○中国

予選2回戦 日本○ [6-1] ●ベラルーシ

予選3回戦 日本○ [4-3] ●米国

3位決定戦 日本○ [6-1] ●ウクライナ

《個人順位》▼48kg 級 三村冬子（日大）＝2位、▼51kg 級 堀内優（京都・網野高）＝3位、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝3位、▼59kg 級 山名慧（中京女大）＝6位、▼63kg 級 西牧未央（中京女大）＝4位、▼67kg 級 井上佳子（中京女大）＝5位、▼72kg 級 佐野明日香（自衛隊）＝5位

◇ウズベキスタン・カップ＝男子フリースタイル（4月15～18日、ウズベキスタン・タシュケント）

▼55kg 級 稲葉泰弘（警視庁）＝2位、▼66kg 級 藤本浩平（警視庁）＝14位、▼74kg 級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）＝3位

◇アジア選手権（5月2～7日、タイ・パタヤ）

《男子フリースタイル》▼55kg 級 清水聖志人（フリー）＝5位、▼60kg 級 前田翔吾（日体大）＝5位、▼66kg 級 米満達弘（自衛隊）＝2位、▼74kg 級 長島和幸（クリナップ）＝5位、▼84kg 級 松本篤史（日体大）＝8位、▼96kg 級 下屋敷圭貴（日体大）＝9位、▼120kg 級 荒木田進謙（専大）＝3位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 長谷川恒平（福一漁業）＝優勝、▼60kg 級 佐藤亮太（日体大OB）＝3位、▼66kg 級 藤村義（自衛隊）＝5位、▼74kg 級 鶴巻宰（自衛隊）＝3位、▼84kg 級 齋川哲克（両毛ヤクルト販売）＝11位、▼96kg 級 北村克哉（FEG）＝8位、▼120kg 級 中村淳志（カンサイ）＝7位

《女子》▼48kg 級 坂本真喜子（自衛隊）＝3位、▼51kg 級＝派遣なし、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼59kg 級 伊藤友莉香（環太平洋大）＝優勝、▼63kg 級 西牧未央（中京女大）＝優勝、▼67kg 級 井上佳子（中京女大）＝3位、▼72kg 級 佐野明日香（自衛隊）＝2位

《ビーチ》▼男子軽量級 鈴木崇之（警視庁）＝2位、▼男子軽量級 坂本憲蔵（自衛隊）＝2位、▼女子軽量級 西牧未央（中京女大）＝2位、▼女子重量級 井上佳子（中京女大）＝優勝

◇オーストリア女子オープン（6月13日、オーストリア・ゲツィス）

▼48kg級 坂本真喜子（自衛隊）＝優勝、鈴木綾乃（ジャパンビバレッジ）＝2位、▼51kg級 甲斐友梨（アイシン・エイダブリュ）＝優勝、▼55kg級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）＝優勝、▼59kg級 伊藤友莉香（環太平洋大）＝3位、▼63kg級 西牧未央（中京女大）＝優勝、▼72kg級 佐野明日香（自衛隊）＝3位、新海真美（アイシン・エイダブリュ）＝優勝

◇アジア・ジュニア選手権（7月9～12日、フィリピン・マニラ）

《男子フリースタイル》▼50kg級 西洸大（京都・網野高）＝11位、▼55kg級 森下史崇（茨城・霞ヶ浦高）＝2位、▼60kg級 有島義弘（日体大）＝5位、▼66kg級 生天目達也（日大）＝3位、▼74kg級 中井伸一（中大）＝7位、▼84kg級 殿村幸城（早大）＝2位、▼96kg級 金澤勝利（山梨学院大）＝7位、▼120kg級 岡倫之（埼玉・花咲徳栄高）＝3位

《男子グレコローマン》▼50kg級 山田磨史宇（法大）＝5位、▼55kg級 中野智章（日体大）＝8位、▼60kg級 杉村元（日体大）＝12位、▼66kg級 塩崎剛（明大）＝7位、▼74kg級 香西順平（青山学院大）＝5位、▼84kg級 川島悠揮（日体大）＝7位、▼96kg級 土田崇英（拓大）＝8位、▼120kg級 横田誠（東京農大）＝7位

《女子》▼44kg級 加賀美祐紀（埼玉・花咲徳栄高）＝5位、▼48kg級 西のどか（早大）＝優勝、▼51kg級 大山礼佳（中京女大）＝優勝、▼55kg級 嶋田実結（青森・青森商高）＝3位、▼59kg級 隈部千尋（奈良・添上高）＝3位、▼63kg級 立光志織（OHJI DRIVING SCHOOL）＝優勝、▼67kg級 歌田圭純（東京・安部学院高）＝棄権、▼72kg級＝派遣なし

◇ゴールデン・グランプリ決勝大会（7月17～19日、アゼルバイジャン・バクー）

《男子フリースタイル》▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁）＝2位、▼74kg級 萱森浩輝（新潟・新潟県央工高教）＝18位

《男子グレコローマン》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）＝優勝、▼55kg級 峯村亮（神奈川大職）＝9位、▼60kg級 谷岡泰幸（自衛隊）＝16位、▼66kg級 藤村義（自衛

隊) = 11 位、▼66kg 級 清水博之 (自衛隊) = 13 位

《女子》▼48kg 級 坂本真喜子 (自衛隊) = 優勝、▼48kg 級 鈴木綾乃 (ジャパンビバレッジ) = 3 位、▼51kg 級 甲斐友梨 (アイシン・エイダブリュ) = 2 位、▼55kg 級 松川知華子 (ジャパンビバレッジ) = 優勝、▼59kg 級 山名慧 (アイシン・エイダブリュ) = 3 位、▼63kg 級 西牧未央 (中京女大) = 優勝、▼72kg 級 佐野明日香 (自衛隊) = 7 位、▼72kg 級 新海真美 (アイシン・エイダブリュ) = 8 位

◇アジア・カデット選手権 (7月31日～8月2日、インド・プネ)

《男子フリースタイル》▼42kg 級 朝比奈尚輝 (千葉・野田一中) = 3 位、▼46kg 級 高谷大地 (京都・網野クラブ)、▼50kg 級 金城希龍 (沖縄・浦添工高)、▼54kg 級 佐藤悠一 (青森・青森商高) = 5 位、▼58kg 級 角田光 (群馬・前橋西高)、▼63kg 級 = 出場なし、▼69kg 級 = 出場なし、▼76kg 級 = 出場なし、▼85kg 級 洞口幸雄 (岐阜・岐南工高)、▼100kg 級 安田翔 (鳥取・鳥取中央育英高) = 5 位

《男子グレコローマン》▼42kg 級 中村悠真 (京都・峰山高)、▼46kg 級 友寄大輝 (沖縄・北部農林高)、▼50kg 級 石新一早 (沖縄・北部農林高)、▼54kg 級 山田直哉 (兵庫・育英高) = 5 位、▼58kg 級 片山朋 (兵庫・育英高)、▼63kg 級 藤澤輝一 (千葉・野田中央高)、▼69kg 級 中村隆春 (三重・鳥羽高) = 5 位、▼76kg 級 河内萌 (香川・香川中央高)、▼85kg 級 与那覇竜太 (沖縄・浦添仲西中) = 5 位、▼100kg 級 = 出場なし

《女子》▼38kg 級 = 出場なし、▼40 kg 級 出遥 (大阪・同志社香里中) = 2 位、▼46kg 級 阿部千波 (愛知・至学館高) = 優勝、▼49kg 級 太田理穂 (山口・柳井学園高) = 2 位、▼52kg 級 田中亜里沙 (埼玉・埼玉栄高) = 優勝、▼56kg 級 伊藤彩香 (愛知・至学館高) = 優勝、▼60kg 級 村田夏南子 (東京・安部学院高) = 優勝、▼65kg 級 土性沙羅 (三重・一志ジュニア) = 優勝、▼70kg 級 橋本千紘 (東京・安部学院高) = 優勝

◇世界ジュニア選手権 (8月4～9日、トルコ・アンカラ)

《男子フリースタイル》▼50kg 級 小林潤平 (関大) = 23 位、▼55kg 級 矢後匡平 (日大) = 17 位、▼60kg 級 田中幸太郎 (早大) = 9 位、▼66kg 級 石田智嗣 (早大) = 5 位、▼74kg 級 高谷惣亮 (拓大) = 9 位、▼84kg 級 山口剛 (早大) = 25 位、▼96kg 級 時信光一 (日体大) = 18 位、▼120kg 級 谷田昇大 (拓大) = 19 位

《男子グレコローマン》▼50kg 級 田口光成 (法大) = 10 位、▼55kg 級 松田大地 (日体大) = 19 位、▼60kg 級 矢野慎也 (拓大) = 29 位、▼66kg 級 冨塚拓也 (日体大) = 26 位、▼74kg 級 = 派遣なし、▼84kg 級 岩間奨平 (専大) = 10 位、▼96kg 級 有菌拓真

(山梨学院大) = 13 位、▼120kg 級 西木亨 (徳山大) = 19 位

《女子》▼44kg 級 藤川千晶 (早稲田大) = 2 位、▼48kg 級 三村冬子 (日大) = 優勝、▼51kg 級 清水愛 (東洋大) = 15 位、▼55kg 級 新井千明 (早大) = 5 位、▼59kg 級 伊藤友莉香 (環太平洋大) = 3 位、▼67kg 級 飯島千晶 (日大) = 5 位、▼63kg 級 佐藤文香 (中京女大) = 3 位、▼72kg 級 = 派遣なし

◇ポーランド女子オープン (8月13~14日、ポーランド・ワルシャワ)

▼59kg 級 永島聖子 (フリー) = 優勝、▼72kg 級 浜口京子 (ジャパンビバレッジ) = 5 位

◇世界選手権 (9月21~27日、デンマーク・ヘルニング)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 湯元進一 (自衛隊) = 13 位、▼60kg 級 前田翔吾 (日体大) = 5 位、▼66kg 級 米満達弘 (自衛隊) = 3 位、▼74kg 級 長島和幸 (クリナップ) = 21 位、▼84kg 級 松本真也 (警視庁) = 32 位、▼96kg 級 磯川孝生 (徳山大職) = 14 位、▼120kg 級 荒木田進謙 (専大) = 26 位

《男子グレコローマン》▼55kg 級 長谷川恒平 (福一漁業) = 11 位、▼60kg 級 松本隆太郎 (群馬ヤクルト販売) = 8 位、▼66kg 級 藤村義 (自衛隊) = 8 位、▼74kg 級 鶴巻宰 (自衛隊) = 12 位、▼84kg 級 斎川哲克 (両毛ヤクルト販売) = 28 位、▼96kg 級 北村克哉 (F E G) = 27 位、▼120kg 級 新庄寛和 (自衛隊) = 24 位

《女子》▼48kg 級 坂本真喜子 (自衛隊) = 8 位、▼51kg 級 甲斐友梨 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 3 位、▼55kg 級 吉田沙保里 (ALSOK 総合警備保障) = 優勝、▼59kg 級 山名慧 (アイシン・エイ・ダブリュ) = 18 位、▼63kg 級 西牧未央 (中京女大) = 優勝、▼67kg 級 井上佳子 (中京女大) = 5 位、▼72kg 級 佐野明日香 (自衛隊) = 13 位

◇シャヒード・バガト・シン国際大会 = 女子 (10月31日~11月1日、インド・ジャールンダール)

▼48kg 級 明尾弥紀 (環太平洋大) = 優勝、▼51kg 級 清水愛 (東洋大) = 2 位、▼55kg 級 新井千明 (早大) = 3 位、▼59kg 級 伊藤友莉香 (環太平洋大) = 3 位、▼63kg 級 高橋海里奈 (早大) = 優勝、▼67kg 級 飯島千晶 (日大) = 2 位、▼72kg 級 鈴木博恵 (立命館大) = 優勝

◇NYACホリデー国際大会 (11月15・22日、米国・ニューヨーク)

《男子フリースタイル》▼55kg 級 富田和秀 (自衛隊) = 2 位、▼60kg 級 田岡秀規 (自

衛隊) = 4位、▼66kg級 藤本浩平(警視庁) = 2位、▼74kg級 高橋龍太(自衛隊) = 三失、▼96kg級 下屋敷圭貴(NEW DEIRY)四失、▼120kg級 櫻井紀宏(本間組) = 三失

《男子グレコローマン》▼55kg級 清水早伸(自衛隊) = 優勝、▼60kg級 城戸義貴(自衛隊) = 9位、▼66kg級 井沢涼(自衛隊) = 11位、▼74kg級 葛西直人(自衛隊) = 16位、▼84kg級 伊藤諒(自衛隊) = 13位、▼96kg級 森保弘(三重・朝明高教) = 8位

《女子》▼48kg級 鈴木綾乃(ジャパンビバレッジ) = 3位、▼51kg級 桜井宏美(代々木クラブ) = 2位、▼55kg級 松川知華子(ジャパンビバレッジ) = 2位、▼59kg級 正田絢子(京都・網野高校教) = 優勝、島田佳代子(自衛隊) = 3位

◇世界グラップリング選手権(12月12~13日、米国フォートローダーデール)

《No-Gi》▼66kg級 遠藤亮太郎(ALLIANCE) = 一失、▼96kg級 久能孝徳(チーム太田章) = 3位

《Gi》▼96kg級 久能孝徳(チーム太田章) = 3位

国内

◇全国高校選抜大会(3月27~29日、新潟・新潟市体育館)

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦(2年ぶり17度目)、[2] 熊本・玉名工、[3] 愛媛・八幡浜工、鹿児島・鹿屋中央

《個人戦優勝者》▼50kg級 西洸大(京都・網野)、▼55kg級 森下史崇(茨城・霞ヶ浦)、▼60kg級 近藤達矢(愛媛・八幡浜工)、▼66kg級 砂川航祐(茨城・霞ヶ浦)、▼74kg級 北村公平(京都・京都八幡)、▼84kg級 細谷翔太郎(埼玉・花咲徳栄)、▼96kg級 馬場貴大(長崎・島原)、▼120kg級 岡倫之(埼玉・花咲徳栄)

◇全日本女子選手権(4月5日、東京・駒沢体育館)

《優勝者》▼48kg級 坂本真喜子(自衛隊)、▼51kg級 堀内優(日大)、▼55kg級 吉田沙保里(ALSOK総合警備保障)、▼59kg級 正田絢子(京都・網野高教)、▼63kg級 西牧未央(中京女大)、▼67kg級 井上佳子(中京女大)、▼72kg級 佐野明日香(自衛隊)

◇JOC杯ジュニアオリンピック(4月25~26日、神奈川・横浜文化体育館)

《男子ジュニア・フリースタイル優勝者》▼50kg級 西洸大(京都・網野高)、▼55kg級 森下史崇(茨城・霞ヶ浦高)、▼60kg級 田中幸太郎(早大)、▼66kg級 石田智嗣

(早大)、▼74kg級 高谷惣亮(拓大)、▼84kg級 山口剛(早大)、▼96kg級 時信光一(日体大)、▼120kg級 谷田昇大(拓大)

《男子ジュニア・グレコローマン優勝者》▼50kg級 田口光成(法大)、▼55kg級 松田大地(日体大)、▼60kg級 矢野慎也(拓大)、▼66kg級 冨塚拓也(日体大)、▼74kg級 辰川裕也(日体大)、▼84kg級 岩間奨平(専大)、▼96kg級 有菌拓真(山梨学院大)、▼120kg級 西木亨(徳山大)

《男子カデット・フリースタイル優勝者》▼42kg級 朝比奈尚輝(千葉・野田一中)、▼46kg級 高谷大地(網野町少年レスリング教室)、▼50kg級 山崎達哉(東京・自由ヶ丘学園高)、▼54kg級 高橋侑希(三重・いなべ総合学園高)、▼58kg級 桑原諒(静岡・飛龍高)、▼63kg級 小川祐希(東京・自由ヶ丘学園高)、▼69kg級 嶋田大育(青森・青森商高)、▼76kg級 坂本悠太(茨城・霞ヶ浦高)、▼85kg級 洞口幸雄(岐阜・岐南工高)、▼100kg級 馬場貴大(長崎・島原高)

《男子カデット・グレコローマン優勝者》▼42kg級 中村悠真(京都・峰山高)、▼46kg級 友寄大輝(沖縄・北部農林高)、▼50kg級 石新一早(沖縄・北部農林高)、▼54kg級 山田直哉(兵庫・育英高)、▼58kg級 片山朋(兵庫・育英高)、▼63kg級 近藤達矢(愛媛・八幡浜工高)、▼69kg級 中村隆春(三重・鳥羽高)、▼76kg級 河内萌(香川・香川中央高)、▼85kg級 与那覇竜太(沖縄・仲西中)、▼100kg級 田中哲矢(鹿児島・鹿屋中央高)

《女子ジュニア優勝者》▼44kg級 藤川千晶(早大)、▼48kg級 三村冬子(日大)、▼51kg級 堀内優(日大)、▼55kg級 新井千明(早大)、▼59kg級 伊藤友莉香(環太平洋大)、▼63kg級 佐藤文香(中京女大)、▼67kg級 飯島千晶(日大)

《女子カデット優勝者》▼38kg級 坂上楓舞希(東京・GOLD KIDS)、▼40kg級 奥野里菜(一志ジュニア教室)、▼43kg級 岡本佳子(福岡・北九州ク)、▼46kg級 阿部千波(愛知・至学館高)、▼49kg級 太田理穂(山口・柳井学園高)、▼52kg級 田中亜里沙(埼玉・埼玉栄高)、▼56kg級 伊藤彩香(愛知・至学館高)、▼60kg級 村田夏南子(東京・安部学院高)、▼65kg級 土性沙羅(三重・一志ジュニア)、▼70kg級 橋本千紘(東京・安部学院高)

◇東日本学生リーグ戦(5月20～22日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

拓大○ [4-3] ●早大

(A組順位) [1] 拓大、[2] 山梨学院大、[3] 国士舘大、[4] 中大、[5] 専大、[6]

明大、[7] 青山学院大、[8] 東農大

(B組順位) [1] 早大、[2] 日体大、[3] 日大、[4] 東洋大、[5] 大東大、[6] 神奈川大、[7] 群馬大、[8] 法大

※拓大は4年ぶり3度目の優勝

◇全国中学生選手権 (6月13~14日、茨城・茨城スポーツセンター)

《男子優勝者》▼38kg級 藤波勇飛(三重・西朝明)、▼42kg級 中村倫也(埼玉・春野)、▼47kg級 山田来哉(埼玉・加須東)、▼53kg級 水野真斗(京都・網野)、▼59kg級 伊藤和真(大阪・吹田山田)、▼66kg級 白井勝太(東京・稲付)、▼73kg級 和智健悟(茨城・竹来)、▼85kg級 与那覇竜太(沖縄・仲西)、▼110kg級 山本晋也(北海道・福移)

《女子優勝者》▼37kg級 坂上楓舞希(千葉・八木が谷)、▼41kg級 川井梨紗子(石川・津幡)、▼46kg級 宮原優(東京・稲付)、▼52kg級 坂野結衣(大阪・青山台)、▼58kg級 鈴木紅夏(群馬・殖蓮)、▼64kg級 土性沙羅(三重・鎌田)、▼70kg級 市川ゆりか(愛知・日進東)

◇東日本学生春季新人選手権 (6月18~19日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 高安直人(日体大)、▼60kg級 鈴木康寛(拓大)、▼66kg級 井上貴尋(日体大)、▼74kg級 葉澤謙(国士舘大)、▼84kg級 殿村幸城(早大)、▼96kg級 金澤勝利(山梨学院大)、▼120kg級 谷田昇大(拓大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 佐々木晋(拓大)、▼60kg級 鈴木康寛(拓大)、▼66kg級 音泉秀幸(日体大)、▼74kg級 辰川裕也(日体大)、▼84kg級 徳山利範(明大)、▼96kg級 金澤勝利(山梨学院大)、▼120kg級 原口卓也(山梨学院大)

◇明治乳業杯全日本選抜選手権 (6月20~21日、東京・代々木競技場第2体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 湯元進一(自衛隊)、▼60kg級 前田翔吾(日体大)、▼66kg級 米満達弘(自衛隊)、▼74kg級 長島和幸(クリナップ)、▼84kg級 松本真也(警視庁)、▼96kg級 磯川孝生(徳山大職)、▼120kg級 荒木田進謙(専大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平(福一漁業)、▼60kg級 松本隆太郎(群馬ヤクルト販売)、▼66kg級 藤村義(自衛隊)、▼74kg級 金久保武大(日体大大学院)、▼84kg級 斎川哲克(両毛ヤクルト販売)、▼96kg級 北村克哉(FEG)、▼120kg級 新庄寛和(自衛隊)

《世界選手権代表決定プレーオフ勝者》▼男子グレコローマン 60kg 級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）、▼同 74kg 級 鶴巻宰（自衛隊）、▼同 120kg 級 新庄寛和（自衛隊）

◇世界選手権日本代表決定プレーオフ＝女子（6月21日、東京・代々木競技場第2体育館）

《勝者》▼59kg 級 山名慧（アイシン・エイダブリュ）

◇全日本社会人選手権（7月4～5日、埼玉・和光市総合体育館サブアリーナ）

《団体戦優勝チーム》▼男子実業団 総合警備保障、▼男子クラブ 警視庁、▼女子実業団・クラブ混成 自衛隊

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg 級 富田和秀（自衛隊）、▼60kg 級 田岡秀規（自衛隊）、▼66kg 級 藤本浩平（警視庁）、▼74kg 級 高橋龍太（自衛隊）、▼84kg 級 浅見哲郎（東京・東亜学園高教）、▼96kg 級 下屋敷圭貴（NEWS DERI）、▼120kg 級 桜井紀宏（本間組）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg 級 清水早伸（自衛隊）、▼60kg 級 城戸義貴（自衛隊）、▼66kg 級 井沢涼（自衛隊）、▼74kg 級 葛西直人（自衛隊）、▼84kg 級 伊藤諒（自衛隊）、▼96kg 級 森保弘（三重・朝明高教）、▼120kg 級 曾我部健（日亜化学工業）

《女子優勝者》▼48kg 級 鈴木綾乃（ジャパンビバレッジ）、▼51kg 級 桜井宏美（代々木クラブ）、▼55kg 級 松川知華子（ジャパンビバレッジ）、▼59kg 級 正田絢子（京都・網野高教）、▼63kg 級 島田佳代子（自衛隊）、▼67kg 級＝出場なし、▼72kg 級 新海真実（アイシンAW）

◇西日本学生春季リーグ戦（7月4～5日、大阪・堺市立金岡公園体育館）

《順位》[1] 立命館大（5季連続16度目）、[2] 日本文理大、[3] 同志社大、[4] 徳山大、[5] 関大、[6] 福岡大、[7] 桃山学院大、[8] 近大

◇インターハイ（8月3～6日、奈良・奈良市中央体育館）

《学校対抗戦》[1] 茨城・霞ヶ浦（2年連続20度目）、[2] 埼玉・花咲徳栄、[3] 秋田・秋田商、熊本・玉名工

《個人戦優勝者》▼50kg 級 山崎達哉（東京・自由ヶ丘学園）、▼55kg 級 高橋侑希（三重・いなべ総合学園）、▼60kg 級 近藤達矢（愛媛・八幡浜工）、▼66kg 級 花山和寛（愛

媛・八幡浜工)、▼74kg級 村上貴之(長崎・島原)、▼84kg級 細谷翔太郎(埼玉・花咲徳栄)、▼96kg級 桜井聡紀(千葉・八千代松陰)、▼120kg級 村木孝太郎(滋賀・栗東)

◇全国高校女子選手権(8月17日、千葉・佐倉市民体育館)

《優勝者》▼38kg級 長谷川みのり(東京・文教大付)、▼40kg級 井手遥(大阪・同志社香里)、▼43kg級 中谷亜依(山口・防府)、▼46kg級 入江ゆき(福岡・小倉商)、▼49kg級 阿部千波(愛知・至学館)、▼52kg級 平野遥香(東京・安部学院)、▼56kg級 坂上嘉津季(愛知・至学館)、▼60kg級 村田夏南子(東京・安部学院)、▼65kg級 歌田圭純(東京・安部学院)、▼70kg級 橋本千紘(東京・安部学院)

◇全国高校生グレコローマン選手権(8月17~19日、千葉・佐倉市民体育館)

《優勝者》▼50kg級 杉本涼輔(岐阜・中津商)、▼55kg級 池田圭介(群馬・館林)、▼60kg級 青木成樹(静岡・飛龍)、▼66kg級 花山和寛(愛媛・八幡浜工)、▼74kg級 榊真嗣(大分・日本文理大付)、▼84kg級 菊池峻(茨城・霞ヶ浦)、▼96kg級 桜井聡紀(千葉・八千代松陰)、▼120kg級 前川勝利(茨城・霞ヶ浦)

◇全日本学生選手権(9月14~17日、東京・駒沢体育館)

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 藤元洋平(早大)、▼60kg級 小田裕之(国士舘大)、▼66kg級 石田智嗣(早大)、▼74kg級 高谷惣亮(拓大)、▼84kg級 松本篤史(日体大)、▼96kg級 黒川渉(日体大)、▼120kg級 ボリス・ムジコフ(山梨学院大)

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 富岡達也(日体大)、▼60kg級 横山巧(日体大)、▼66kg級 岡本佑士(拓大)、▼74kg級 近藤弘志(日体大)、▼84kg級 岡太一(拓大)、▼96kg級 藤本健治(拓大)、▼120kg級 ボリス・ムジコフ(山梨学院大)

《女子優勝者》▼48kg級 明尾弥紀(環太平洋大)、▼51kg級 清水愛(東洋大) 《優勝者》▼55kg級 梶田瑞華(中京女大)、▼59kg級 伊藤友莉香(環太平洋大)、▼63kg級 佐藤文香(中京女大)、▼67kg級 飯島千晶(日大)、▼72kg級 鈴木博恵(立命館大)

◇全日本学生王座決定戦(9月25日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

早大○ [4 - 3] ●拓大

※早大は2年連続2度目の優勝

◇国民体育大会（9月27～30日、新潟・新潟市白根カルチャーセンター）

《成年フリースタイル優勝者》▼55kg級 田岡秀規（埼玉・自衛隊）、▼60kg級 湯元健一（和歌山・総合警備保障）、▼66kg級 金淵清文（青森・光星学院高教）、▼74kg級 鈴木崇之（東京・警視庁）、▼84kg級 小幡邦彦（山梨・総合警備保障）、▼96kg級 下屋敷圭貴（青森・日体大）、▼120kg級 下中隆広（徳島・国士大大学院）

《成年グレコローマン優勝者》▼55kg級 平尾清晴（新潟・新潟県協会）、▼60kg級 城戸義貴（熊本・自衛隊）、▼66kg級 清水博之（埼玉・自衛隊）、▼74kg級 角功介（青森・自衛隊）、▼84kg級 天野雅之（福岡・中大）、▼96kg級 磯川孝生（山口・徳山大職）、▼120kg級 中村淳志（奈良・カンサイ）

《少年フリースタイル優勝者》▼50kg級 山崎達哉（東京・自由ヶ丘学園）、▼55kg級 森下史崇（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg級 栗森幸次郎（秋田・秋田商）、▼66kg級 砂川航祐（茨城・霞ヶ浦）、▼74kg級 坂本悠太（茨城・霞ヶ浦）、▼84kg級 細谷翔太郎（埼玉・花咲徳栄）、▼96kg級 北村公平（京都・京都八幡）、▼120kg級 岡倫之（埼玉・花咲徳栄）

《少年グレコローマン優勝者》▼50kg級 守田将弘（佐賀・鹿島実）、▼55kg級 石原拓朗（山梨・韮崎工）、▼60kg級 近藤達矢（愛媛・八幡浜工）、▼66kg級 花山和寛（愛媛・八幡浜工）、▼74kg級 加賀谷庸一朗（秋田・秋田商）、▼84kg級 大阪昂（秋田・秋田商）、▼96kg級 桜井聡紀（千葉・八千代松陰）、▼120kg級 前川勝利（茨城・霞ヶ浦）

◇全日本女子オープン選手権（10月10～11日、静岡・稲取高）

《シニア・ジュニア優勝者》▼48kg級 明尾弥紀（環太平洋大）、▼51kg級 桜井宏美（代々木クラブ）、▼55kg級 新井千明（早大）、▼59kg級 中田絵里子（フォンテーヌ）、▼63kg級 山本聖子（クレイジービー）、▼67kg級 平野翔子（東海大）、▼72kg級＝出場なし

《カデット優勝者》▼40kg級 長谷川みのり（東京・文教大付高）、▼43kg級 藤田麻美（静岡・焼津中央高）、▼46kg級 植野さくら（京都・網野高）、▼49kg級 入江ゆき（福岡・小倉商業高）、▼52kg級 金子和（群馬・大泉高）、▼56kg級 村田夏南子（東京・安部学院高）、▼60kg級 加藤優希（東京・安部学院高）、▼65kg級 土性沙羅（三重・一志ジュニア）、▼70kg級 橋本千紘（東京・安部学院高）

◇全日本大学グレコローマン選手権（10月13～14日、東京・駒沢体育館）

《優勝者》▼55kg級 森大輔（日大）、▼60kg級 佐々木遼（拓大）、▼66kg級 岡本佑士（拓大）、▼74kg級 中井伸一（中大）、▼84kg級 天野雅之（中大）、▼96kg級 藤本健治（拓大）、▼120kg級 ボリス・ムジコフ（山梨学院大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（3年ぶり7回目）、[2] 中大、[3] 山梨学院大

◇西日本学生選手権（10月16～18日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 桑木黎（中京学院大）、▼60kg級 入江淳史（同志社大）、▼66kg級 増谷一樹（関大）、▼74kg級 鎌田学（中京学院大）、▼84kg級 亀井謙吾（日本文理大）、▼96kg級 境寛矢（徳山大）、▼120kg級 近田真基（立命館大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 加藤貴裕（中京学院大）、▼60kg級 増谷剛（関大）、▼66kg級 越智和文（福岡大）、▼74kg級 梅野貴裕（徳山大）、▼84kg級 佐藤幸星（日本文理大）、▼96kg級 境寛矢（徳山大）、▼120kg級 近田真基（立命館大）

◇全日本大学選手権（11月14～15日、大阪・堺市金岡公園体育館）

《優勝者》▼55kg級 須藤学（日大）、▼60kg級 小田裕之（国士舘大）、▼66kg級 森川一樹（山梨学院大）、▼74kg級 高谷惣亮（拓大）、▼84kg級 山口剛（早大）、▼96kg級 金沢勝利（山梨学院大）、▼120kg級 荒木田進謙（専大）

《大学対抗得点》[1] 拓大（2年ぶり3回目）、[2] 専大、[3] 山梨学院大

◇全国社会人オープン選手権（11月21～22日、東京・スポーツ会館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 長尾武沙士（近大ク）、▼60kg級 富岡直希（NEWS-DERI）、▼66kg級 小原康司（自衛隊）、▼74kg級 桜井浩二（前製作所）、▼84kg級 村上祐太（川内自衛隊）、▼96kg級 山本美仁（CAMUSA）、▼120kg級 アントニー・ブライアン・ベネロ・カサノバ（前川製作所）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 清水早伸（自衛隊）、▼60kg級 峯村亮（神奈川大クラブ）、▼66kg級 堀弘輔（自衛隊）、▼74kg級 江藤紀友（自衛隊）、▼84kg級 後藤俊秋（東京 SNUFF）、▼96kg級 福田広樹（自衛隊）、▼120kg級＝出場なし

《女子優勝者》▼48kg級 内田奈美（東洋大）、▼51kg級 田村春奈（網野クラブ）、▼55kg級 高橋春花（郡山女短大）、▼63kg級 ▼67kg級＝出場なし、▼72kg級＝出場なし

◇東日本学生秋季新人選手権（11月24～26日、東京・駒沢体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 矢後匡平（日大）、▼60kg級 柏木健太（早大）、▼66kg級 後藤佳吾（山梨学院大）、▼74kg級 嶋田裕大（国士舘大）、▼84kg級 山口剛（早大）、▼96kg級 殿村幸城（早大）、▼120kg級 金沢勝利（山梨学院大）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 十河勇児（拓大）、▼60kg級 矢野慎也（拓大）、▼66kg級 福原将太（国士舘大）、▼74kg級 香西順平（青山学院大）、▼84kg級 山口剛（早大）、▼96kg級 入江泰久（神奈川大）、▼120kg級 金澤勝利（山梨学院大）

◇西日本学生秋季リーグ戦（12月5～6日、大阪・なみはやドーム）

《順位》[1] 日本文理大（初）、[2] 徳山大、[3] 立命館大、[4] 同志社大、[5] 中京学院大、[6] 桃山学院大、[7] 福岡大、[8] 関大

◇天皇杯全日本選手権（12月21～23日、東京・代々木競技場第2体育館）

《男子フリースタイル優勝者》▼55kg級 稲葉泰弘（警視庁）、▼60kg級 小田裕之（国士舘大）、▼66kg級 池松和彦（福岡大助手）、▼74kg級 長島和彦（クリナップ）、▼84kg級 松本真也（警視庁）、▼96kg級 磯川孝生（徳山大職）、▼120kg級 下中隆広（国士舘大大学院）

《男子グレコローマン優勝者》▼55kg級 長谷川恒平（福一漁業）、▼60kg級 松本隆太郎（群馬ヤクルト販売）、▼66kg級 清水博之（自衛隊）、▼74kg級 鶴巻幸（自衛隊）、▼84kg級 斎川哲克（両毛ヤクルト販売）、▼96kg級 北村克哉（FEG）、▼120kg級 新庄寛和（自衛隊）

《女子優勝者》▼48kg級 坂本真喜子（自衛隊）、▼51kg級 甲斐友梨（アイシン・エイ・ダブリュ）、▼55kg級 吉田沙保里（ALSOK総合警備保障）、▼59kg級 正田絢子（京都・網野高教）、▼63kg級 伊調馨（ALSOK総合警備保障）、▼67kg級 新海真美（アイシン・エイ・ダブリュ）、▼72kg級 浜口京子（ジャパンビバレッジ）

◇ジュニアスターカップ（12月30～31日、東京・有明コロシアム）

《中学男子優勝者》▼38kg級 藤田雄大（三重・いなべ教室）、▼42kg級 藤波勇飛（三重・いなべ教室）、▼47kg級 澤太朗（JOCアカデミー）、▼53kg級 高谷大地（京都・網野町少年教室）、▼59kg級 水野真斗（京都・網野町少年教室）、▼66kg級 伊藤和真（大阪・吹田市民教室）、▼73kg級 白井勝太（JOCアカデミー）、▼85kg級 長知宏（千葉・野田市一中）、▼110kg級 鈴木大輔（茨城・霞ヶ浦アンジュ）

《中学女子優勝者》 ▼37kg 級 五十嵐未帆（千葉・関宿クラブ）、▼41kg 級 坂上楓舞
希（東京・GOLD KID'S）、▼46kg 級 宮原優（JOCアカデミー）、▼52kg 級 木村安里
（群馬・千代田ジュニア）、▼58kg 級 坂野結衣（大阪・吹田市民教室）、▼64kg 級 土
性沙羅（三重・一志ジュニア）